

## 公益財団法人山口大学後援財団「学生支援特別事業」 [平成26年度成果報告書]

平成 27 年 4 月 20 日

公益財団法人山口大学後援財団理事長 殿

【申請者】山口大学大学教育機構長

瀬瀬 厚 印

下記のとおり成果報告書を提出します。

## 1. 平成26年度の概要と成果

(事業目的名毎に実施した事業の概要及び成果を具体的に記載してください。)

## (1) 事業目的(1)名称: (2) 学生の社会人基礎力育成事業

## 1) 実施事業名1: 学生支援センター&amp;学生団体コラボ企画「社会人を目指すみなさんへ」

概要: 学生団体iSturdyが企画実施。できる社会人を目指す団体。日本経済新聞社顧問 小嶋健史氏を招いて講演会を実施した。

成果: 経済情報のプロフェッショナルを招き、就職活動に限らず、社会人になっても必要な知識を得ることを目的として企画し、学生自らが学ぶ場を創出した。学生28名が参加した。

## 2) 実施事業名2: 学生支援センター&amp;学生団体コラボ企画「英語キャンプ!」

概要: 学生団体「英語キャンプ!」が企画実施。日本人学生と留学生が英語のみを使用して11月22日、23日に1泊2日の共同生活を実施した。

成果: グローバル化が進む現代において、多様な価値観を持つ人々とコミュニケーションする機会を提供すると共に学生自らが学ぶ場を創出した。日本人学生12名、留学生11名が参加した。

## 3) 実施事業名3: 学生支援センター&amp;学生団体コラボ企画「なりたい自分になる方法」

概要: 学生団体「ジコピー山口」が企画実施。株式会社アクティブラーニング・シニアレクチャーの得能絵理子氏を招いて講演会を実施した。

成果: 目標達成のためにどのようなキャリアデザインをしていくのか、自ら学ぶこと、成長することへの意識を高めることを目的として企画。学生自らが学ぶ場を創出した。51名の学生が参加した。

## 4) 実施事業名4: 学生支援センター&amp;学生団体コラボ企画「Español交流講演会」

概要: 学生団体「スペイン語の会」が企画実施。世界で3番目に多く話されているスペイン語を学ぶ機会を得るための講義とグループ学習を実施した。

成果: 活動を通して、スペイン語を継続的に楽しみながら学んだ。スペイン語のスキルを身につける場を学生自らが創出した。計3回、9名の学生が参加した。